

映画のタイトル

1995年に日本で「恋する惑星」という映画が公開されました。わたしはその映画に出ていた俳優が好きだったので、何度もその映画を見ました。香港の街の様子がおしゃれに描かれていて、いつか行ってみたいと思いました。その映画から4年後、1999年に、わたしはついに香港に行くことができました！

香港で美味しいものを食べ、映画の雰囲気と同じ、エネルギーにあふれた街を歩き、夜は足の裏をマッサージしてもらいながら、のんびりしました。ある夜、たまたま夕食の席で隣にいた現地の人に話しかけられました。わたしは広東語が話せませんし、彼女も日本語が話せなかったので、わたしたちは英語で会話をしました。そのとき、わたしは『恋する惑星』という映画を見て、香港が好きになった」ということを、彼女に伝えたいと思いました。でも、「恋する惑星」という映画のタイトルがなかなか伝わりません。The Loving Planet? The Loving Planets? Planets in Love? など、試しにいくつか言ってみましたが、全く伝わりません。当時はスマホがない時代だったので、スマホで説明することもできません。結局、映画のストーリーを説明したところ、やっとわかってもらえました。そして彼女は、紙に「重慶森林」と書きました。日本で「恋する惑星」という名前だったあの映画は、もともと「重慶森林」という名前だったのです。彼女も私も、

日本でのタイトルと、もともとのタイトルが全く違うことに驚きました。

外国の映画が日本で公開される時につけられるタイトルを「邦題」と言います。邦題は、「恋する惑星」のように、もともとのタイトルと全く違うものになることもよくあります。Sister Act は「天使にラブソングを...」、Dead Poets Society は「いまを生きる」、Coco は「リメンバー・ミー」というタイトルで公開されました。個人的には、どの邦題も、映画の内容をうまく伝えていると思います。逆に、日本で作られた映画が海外で公開される時は、その国の言葉でタイトルが付けられます。例えば「天気の子」は Weathering with You、「おくりびと」は Departures というタイトルが付けられました。また、「となりのトトロ」は My Neighbor Totoro というタイトルで、これはほとんど日本語のニュアンスがそのまま英語で表されていると思います。

映画が好きで、映画についてたくさん日本語で話したいと思う人は、ぜひ「映画 邦題」で検索してみてください。もともとのタイトルと全く違う意外なタイトルを見つけることができるかもしれませんよ。

(989 字)

(2021.10 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.